

かいけ

ブログもご覧ください

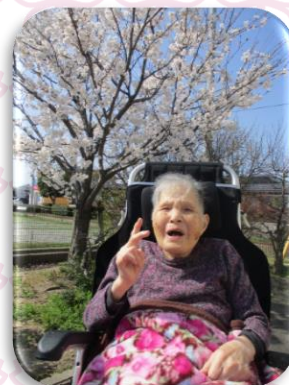
皆生みどり苑2丁目

検索

皆生みどり苑



ブログは「かいけ」



お花見

毎年恒例、敷地内に咲いている桜を見に行きました。花と一緒に皆様の笑顔もほころんでいました。



contents

- ・ 令和7年度事業計画
- ・ 転任職員紹介
- ・ 米子北高探究学習
- ・ 全体レクの紹介
- ・ 面会について
- ・ 寄付・寄贈の御礼
- … etc.



(2) 個別ケアの充実

- ア 今後さらに進行する利用者の重度化を踏まえ、介護ICT機器の活用を多職種で検討し、業務効率化と情報の速やかな共有をより一層推進する。
- イ 24時間シートを継続して活用。個々のケアや対応の周知によるケアの質を担保、職員間で円滑に情報共有をすることでケアの質の向上につなげる。
- ウ 褥瘡や誤嚥を予防するため、写真を用いた資料により姿勢の整え方を職員に周知する。
- エ 体重や各種検査結果を確認・検討することで、低栄養等など、異常の早期発見につなげる。必要に応じて嘱託医に嚥下評価を依頼する。
- オ 余暇時間の充実。感染症対策をしながら、外部のボランティア等を積極的に活用する。ユニットの外へ出る機会を増やし、日常生活とは違った雰囲気を感じて頂く。

(3) 地域共生社会へ向けた支援体制の構築

- ア 自治会や子ども会と協議し、催し物、職員の講師派遣、利用者の作品展示等、地域との関係を強化し必要な情報提供を検討、地域の「なくてはならない施設」を目指す。
- イ 地域と協力し、認知症カフェ（オレンジカフェ）の開設を検討する。
- ウ 福祉の担い手を確保するため、福祉の経験がない人に対し職場体験やボランティア等をして頂ける場を提供し、専門職を増やすことに努める。

(4) その他

- ア 高稼働率の維持に努める。入所年間平均97%以上、短期入所50%以上を確保する。かつ、10日以内の欠員補充を継続し、欠員期間短縮に努める。
- イ 生産性向上委員会を通じ、事例研究・研修会を積極的に受講することで、業務負担の軽減と介護の質の向上の両立を目指す。

転任職員紹介

令和7年度は2名の転任職員を迎えてスタートしました。
職員一同ご利用者の想いに寄り添い、生活を支えていきます。
よろしくお願いいたします。



☀ 原田 恵 ☀

- ① 事務所 (主事)
- ② 皆生やまと苑
- ③ 早くみどり苑になじめるように頑張ります。よかったら声かけてやってください!

☀ 西川 博之 ☀

- ① すみれユニット (介護員)
- ② えがお
- ③ 皆さんが安心して過ごせるよう精一杯頑張ります。

①所属 ②前任地 ③何か一言

転出

皆生やまと園へ
主任介護員
永井 孝喜
介助員
吉岡 英美

退職

調理士
雑賀 由美子

お世話になりました
新天地での活躍を
お祈りしております



皆生みどり苑 令和7年度事業計画

今年度の重点事業目標を以下のとおり策定しました。
当施設の基本方針にあるように施設機能を活用した地域貢献を行うとともに、
地域共生社会へ向けた支援体制を構築できるよう努めます。

皆生みどり苑 基本方針

- 個人の尊厳を尊重し、安心安全な生活が送れるよう支援します。
- 利用者一人ひとりの生活リズムに合わせた個別ケアを推進し、その人らしさを大切にした生活を提供します。
- 施設機能を活用した地域貢献を行うとともに、積極的な情報公開により透明性を高め、信頼される施設を目指します。
- 社会のニーズに応じ、高齢者、障害者等がともに暮らす共生社会づくりに貢献します。

(1) 重度者ケアの充実

ア 状態変化時などにおいて、多職種で連携し個々に合ったケアを検討・実施する。

また、迅速に対応するため、小さな変化でも速やかに情報共有をする。

イ 褥瘡発生を予防するため、ポジショニング等の管理を今まで以上に進めていく。

ウ 利用者の健康維持及び入所前からのケアの継続のため、積極的に嘱託医に意見を求める。

エ 利用者及びご家族の意向を踏まえ、身体に負担がない食事を提供する。また可能な限り
最期まで経口摂取ができるよう、評価・検討し、嗜好・嚥下状態に沿った食事を提供する。

オ 穏やかに最期を迎えるため、ご家族への意向の確認に加え、利用者に対し早期に本人の希望を
確認し、利用者のご家族の気持ちに寄り添ったターミナルケアを行う。

Column ～ 数字で見る皆生みどり苑 ～

- ・ 開設 昭和51年4月
鳥取県立米子特別養護老人ホームとしての開設から49年経ちました。
- ・ 名称変更 平成17年4月
鳥取県より譲渡され、「皆生みどり苑」へ名称変更してから20年経ちました。
- ・ 全面改築 平成23年4月
現在の建物へ全面改築してから14年経ちました。
- ・ 定員 100名（ユニット型 80名 地域密着型 20名 男女比 男性15名 女性85名）
- ・ 平均年齢 89歳（男性82.6歳 女性89.4歳）
- ・ 最高齢 105歳 最年少 70歳 苑長 58歳
- ・ 平均介護度 4.4

（令和7年4月30日現在）

全体レク

令和6年度の重点事業目標にも挙げていましたとおり、余暇活動の充実を図っています。昨年度は演芸ボランティアさん、実習生さんにもたくさん来ていただきました。体を動かすこと、頭や手先を動かすことなどバランスよく取り組みながら、ユニットを超えた活動の場を広げています。

*日頃の様子をブログで公開しています。ぜひご覧ください。



体操



工作（ステンシル）



工作（立体ちぎり絵）



書道

米子北高探究学習・職場体験

R6.10月に米子北高1年生が探究学習・職場体験に来られました。この職場体験は皆生みどり苑が抱えている課題や問題を見つけ解決する方法を探究する職場体験です。



各部署、職種からの説明と福祉用具やレクの体験を通じて主体的に学習を進められました。

皆生みどり苑の抱えている問題は「人材不足」です。課題分析を踏まえ、3月の発表会では施設や介護を知り、理解を深めてもらうことを目的に3点の提案を受けました。特に「SNSの活用」について、根拠をもとに素晴らしい考察をされていました。

今回受けた提案を元に、介護や施設についての理解を深めていただくことができるような取り組みを進めて行きたいと思っています。

面会について

面会条件を見直しました。

以下の条件でご面会いただけます。（R7.5.19現在）

- ・面会場所：居室（同時入室は4名まで）
- ・面会時間：13：00～17：00 1回15分まで
365日いつでもお越しください。
- ・受付での体調確認とマスクの着用にご協力ください。
- ・ご入居者への差し入れは、一度職員へお預けください。
また、面会場所での飲食はご遠慮ください。
- ・感染症流行状況によっては再び面会方法の変更または中止とする場合があります。

ご不明な点はお問い合わせください。

Coffee Break

某ユニットの奥で眠っていたサイフォン。この度相談員が復活させ、改めて脚光を浴びています。



レクの合間のコーヒーブレイク。部屋中に広がる香りは癒しにも会話のきっかけにもなっています。

お知らせ

☆ 心温まるご寄付をいただきました。ご利用者の生活に役立てさせていただきます。

- ・ウエス用古着等/匿名（近隣住民）様
- ・絵画等4点/匿名希望様
- ・ウエス用古着、タオル等/NTT退職者 山茶花の会様

☆ 昨年度までは年3回広報誌を発行していましたが、今年度は2回を予定しています。

また、今後は普段のご様子をブログを中心にお知らせするとともに、広報誌のweb化及びペーパーレス化を進める予定にしております。ご理解とご協力をお願いいたします。